



研究部会報告

●ファイナンスのOR●

・第24回

日 時：平成8年12月14日(土) 14:00~17:00

出席者：6名

場 所：東京工業大学百年記念館2F第1会議室

テーマと講師：

(1)「日米M&A動向とその相違点に関する考察」

佐山 展生(さくら銀行 情報開発部)

日米におけるM&A動向と相違点について過去の事例も交えて解説した。さらに、M&Aにおける企業評価の方法において、日本では修正純資産法などが、米国においてはDCF法などによる企業評価が行われることが多いことを説明した。

・第25回

日 時：1月25日(土) 14:00~17:00

出席者：15名

場 所：東京工業大学百年記念館2F第1会議室

テーマと講師：

(1)「変動利付債と資本構成問題」

池田 昌幸(青山学院大学・経営学部)

金利が確率的で、企業の資産収益に関連する経済のもとでの最適資産構成問題を分析した。また、企業価値を最大にするには固定利付債か変動利付債のどちらで発行すれば良いかの条件も示した。

(2)「AHPを用いた最適ポートフォリオモデル」

枇々木 規雄(慶應義塾大学・理工学部)

AHPを用いたポートフォリオ選択問題に対し、実務上必要な諸制約を加えることのできる数理計画モデルを提案した。非線形制約を含む基本モデルに加え、より簡略化した3つの代替モデルと、それらに対する簡単な数値例も示した。

●評価のOR●

・第21回

日 時：1月25日(土) 13:30~17:00

出席者：15名

場 所：成蹊大学資料館大会議室

テーマと講師：今回は学生の発表会でした。先生方からいろいろ有用なコメントをいただきました。

(1)「包絡分析法(DEA)における加法モデルを用いた感度分析法」 田中 義紀(慶應義塾大学)

(2)「DEAによるパーソナルコンピュータの設定価格評価」 宮澤 友和(電気通信大学)

(3)「環境条件を考慮できるDEA法の検討」 野沢 真(成蹊大学)

(4)「ファジィDEA」 上村 哲志(成蹊大学)

(5)「DEA領域限定法の領域の決め方」 岡本 賢(成蹊大学)

(6)「効率性評価における正準相関分析の利用」 吉岡 秀隆(成蹊大学)

●イノベーション●

・第9回

日 時：1月29日(水) 14:00~17:00

出席者：11名

場 所：グランドヒル市ヶ谷 市ヶ谷本村町

テーマと講師：「日本政治のイノベーション」

出席者全員による討議

50年にわたり平和の続いた日本では、常に怠らず行うべき改革(イノベーション)がどうしてもなおざりにされてしまいました。その咎めが遂に現われたのが今日この頃です。橋本内閣は真剣にこの改革に取り組もうとしています。我々も「日に日に新た」に努めましょう。

会 合 記 録

2月17日(月) フェロー会議

22名